



廿日市市 地域支援員だより

廿日市市

地域支援員だより



2025 春号

写真提供：空き家を改修し、囲炉裏を設置した和室からの風景(浅原地区)。

地域支援員とは

地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかりながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。任期は最長3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、廿日市市でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。



宮島ロクロ体験授業実施

1月19日(日)五日市公民館で、ボーイスカウト佐伯第6団に向けて、宮島ロクロ体験授業が行われ、小学5年生から中学3年生までの参加者がロクロの技術を学びました。参加者は、宮島細工の歴史についての話を聞いた後、実際にロクロを使って木の小皿を削り出しました。順調に作業を進め、皆さん上手に仕上げることができました。さらに、仕上げにはクルミを砕いてクルミ油を作り、作品に塗ることで完成度を高めました。この体験を通じて、木工の技術とともに、伝統文化への理解を深める貴重な機会となりました。



宮島ロクロの体験の様子

宮島学生フォーラム

2月18日(火)に廿日市市主催の「宮島学生フォーラム」という討論会が宮島成風館で開催されました。フォーラムでは、宮島に関するプロジェクトに参加した学生の発表が中心に行われ、私は宮島細工の歴史についてや、自身の作品制作や宮島細工の振興に取り組んでいる話をしました。また、宮島の観光課題や今後の展開について参加者と意見交換が行われました。参加者は高校生、大学生、宮島島内の住民で、特に宮島に関するプロジェクトに参加する学生たちと参加者の皆さんとの交流が深まり、有意義な時間となりました。



宮島学生フォーラムの参加者に配られるノベリティを制作しました。

伝統工芸継承担当 下村

けんだマルシェ



1月11日(土)にけん玉商店街で「年末年始スタンプラリーガラポン抽選会」と「けんだマルシェ」が開催されました。

今回が2回目の開催となった「けんだマルシェ」は、今後創業を考えている方の挑戦の場として「チャレンジマルシェ」も同時開催しました。

そして、ステージでは、RED★EYEさんのLIVEや福山からKENDAMA PERFORMANCE UNIT伝承DEN-SHOWさんが技を披露してくださいました。MCは廿日市出身フリータレントのりよーまさんが務めてくださいました。

最後は、イベントやお祭りの恒例となっている「けんだまんじゅう撒き」を午前午後2回実施。多くの方が参加され、大変盛り上がった1日となりました。

廿日市駅通り商店会

新春恒例 初夢大抽選会

1月13日(月祝)に串戸商工振興会主催の「新春恒例初夢大抽選会」が開催されました。今回も多くの方が抽選会に参加され、5枚以上スタンプカードを集めた方もいらっしゃいました。毎回、景品が豪華で、特賞は串戸商工振興会の加盟店で使える商品券5万円分が！他にも缶ビールやお米2kg、末等が出てティッシュ5箱と宝くじがもらえるという、何が出て嬉しい景品ばかりでした。

そして今回の特賞は誰の手に！？私もワクワクしながら待っていると、今回もお子さんがゲット！みんなで大喜びしました。「初夢大抽選会」は地域の方には欠かせないイベントになっているように感じました。

皆さんも来年に向けて集めてみては？

串戸商工振興会



商店街活性化担当 狩山

佐伯高校 地域支援員だより

2024年度は“佐伯高校地域地域支援員だより”という、広報誌を作成しました。月に1回発行し、地域で配布しています。佐伯高校の活動や魅力を地域の方々に知っていただくためであり、地域のたくさんの方々が佐伯高校に携わってくださっていることをお届けするためです。

佐伯高校は「全員主役!」を合言葉に、生徒一人一人のやりたいことを全力でサポートしています。そのために欠かせないのが、地域の方々のご協力です。たくさんの方々のご協力に感謝し、今後もより一層応援したくなる高校になるよう、生徒たちの取り組みをお届けしたいと思います!



過去の記事はこちらから

2024年度 卒業証書授与式+写真展

3月4日(火)、佐伯高校の卒業式が行われました。今年度は39名が卒業し、**7名が国公立大学に進学**が決まっております。過去最多となりました。また、9割を超える生徒が第一志望の進路・進学先へと進むことが出来ました。

卒業式の後には、私が1年間地域支援員として撮りためた写真を使って、写真展を行いました。生徒は懐かしがって思い出話に花を咲かせ、保護者の方々はお子さまの高校生活を共有することができ、喜んでくださいました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの人生の中でおそらくもっとも多感な時期、皆さんの高校生活のサポートができたことを嬉しく思います。佐伯高校での経験を生かして、頑張ってください。応援しています。😊



佐伯高校魅力化担当 稲田

玖島の雪降る冬

節分イベント

今年は2月2日(日)が節分。玖島花咲く館では、巻き寿司(小次郎・紀乃寿司・宮園)の対面販売や、無農薬栽培の大豆(花と実・吉和)で煎り豆を作り販売。また、鬼の的当てゲームを行いました。雪が積もる寒い一日でしたが、近くから遠くから多数ご来館くださいました!



大峰のとんど(川上ベース)

大峰山の中腹、川上ベースで行われたとんど。組まれた竹から炎があがり、山々に爆竹音が響きました。玖島地区で集落ごとに行われてきたとんどでしたが、昨今では数か所のみとなりました。地区内外から集まった約50名で猪汁や焼餅を入れたぜんざいをいただき、子どもから大人まで身も心もポカポカになりました。

玖島で鍋寄り

1月18日(土)玖島に関わる若い世代が集まり、「玖島で鍋寄り」が開催されました。玖島の野菜をふんだんに使ったお鍋と玖島のお米を囲んで話題は尽きず…また次回会いましょう!と名残惜しく解散しました。若い世代のパワーを集結し、玖島をもっともっと盛り上げていきたいと思われました。



玖島地区活性化担当 東



味噌と乾燥野菜づくり

*2月中、くじマルシェ加工所では味噌の仕込みを行いました。毎年、麴から味噌づくりを行っています。出来上がった美味しい手作り味噌は、くじマルシェで販売されたり、カフェ玖島学園のお味噌汁に使われます。

*また乾燥野菜・乾燥果物作りを行いました。干し柿や干し椎茸など、素材の旨味がぎゅっと凝縮された乾物は、くじマルシェでも好評いただいています。ぜひご賞味ください☆



佐伯の農地を守っていくための取組

現在、佐伯地域を含めた廿日市の中山間地域では、少子高齢化・人口減少に伴い農業の担い手不足が課題となっており、これは佐伯地域に限らず全国的な社会問題となっています。そこで、地域コミュニティが主体となって農地保全に取り組もうとする動きが全国各地で始まっています。ここ佐伯でも同様な活動が行われているので、紹介します。

先進地視察

浅原地区では地域全体で農地保全を行う方法を学ぶため、2月3日(月)に地域住民、NPOあさはら、市職員の方々計45名で先進地である島根県雲南市鍋山地区へ視察に赴きました。



ワークショップ

2月16日(日)には農地を守る地域づくりワークショップがあさはらまちづくり交流センターで開催されました。地域の方々に地図に色塗りを行い、10年後の耕作状況を予測しました。そしてその地図をもとに、農地を守っていくために何ができそうか次の一手について全員で意見を出し合いました。



地域農業活性化担当 乾

さいき地域づくり円卓会議を開催

2月22日(土)さいき文化センターにて第2回さいき地域づくり円卓会議が開催され28名が参加しました。この会は地域に関わる人と人がつながることで、「さいき暮らし」について考える場になることを目的としています。

当日は中国地域創造研究センターから中山間地域の現状に関する説明や、地域の人の暮らしの発表、チームに分かれてワークショップを実施しました。終了後のアンケートでは「農業を頑張りたい」「やりたいことを応援したい」など活発な意見が見受けられ、参加者の皆さんとの交流が深まり、有意義な時間となりました。

第3回を開催する際はみなさまの積極的なご参加をお待ちしています!



令和6年度 賃貸不動産経営管理士試験に合格

11月17日(日)に実施された賃貸不動産経営管理士試験に合格し、その後の実務者講習を修了しました。これから人口が減少して空き家が増えた場合、空き家を賃貸する機会も増えることが予想されます。佐伯・吉和地域の空き家担当者として、賃貸不動産経営管理士の知識を最大限に活用し、空き家問題解決に貢献してまいります。

賃貸不動産経営管理士とは

賃貸住宅の管理に関する専門知識と技能、倫理観を持つ専門家です。令和3年度から国家資格となり、賃貸住宅市場の健全な発展と賃貸住宅に住む人の安全・安心に貢献する役割を期待されています。



定住推進担当 田崎